

2024年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月26日

上場会社名 東邦レマック株式会社 上場取引所 東
コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 笠井 庄治
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長兼総務部部長（氏名） 高野 裕一 TEL 03-3832-0132
四半期報告書提出予定日 2024年8月2日 配当支払開始予定日 2024年9月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期の業績（2023年12月21日～2024年6月20日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第2四半期	2,371	△13.1	0	—	52	—	48	—
2023年12月期第2四半期	2,729	△6.4	△88	—	△60	—	△37	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第2四半期	95	96	—	—
2023年12月期第2四半期	△74	17	—	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第2四半期	5,983	75.3	4,503	75.3	—	—
2023年12月期	5,956	74.6	4,443	74.6	—	—

（参考）自己資本 2024年12月期第2四半期 4,503百万円 2023年12月期 4,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	53.00	—	53.00	106.00	—
2024年12月期	—	55.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	57.00	112.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想（2023年12月21日～2024年12月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,400	6.0	5	—	64	—	54	—	106	09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期2Q	512,070株	2023年12月期	512,070株
② 期末自己株式数	2024年12月期2Q	3,200株	2023年12月期	3,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期2Q	508,886株	2023年12月期2Q	509,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動が活発となり、雇用・所得環境の改善、また外国人旅行者の増加に伴うインバウンド消費の増加等の影響もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら長期化するウクライナ情勢、並びに中東地域をめぐる情勢不安等の地政学リスクや欧米との金利格差拡大に伴う円安の進行、並びにその円安に起因する資源・原材料価格の高騰に伴う物価上昇が続いており、景気や個人消費への影響が懸念され、予断を許さない先行き不透明な状況が続いております。

靴流通業界におきましては、円安や資材等の価格高騰の影響から商品価格が徐々に上昇してきており、消費者の価格志向や消費動向にも変化が見られ、企業としての対応力を問われる難しい環境にあります。商品動向としましては、スニーカーを中心としたスポーツ系カジュアルと旅行・レジャー・普段使い等、使いまわしのできる幅広い用途のカジュアルが需要の多い状況にあります。

このような状況のもと、当社は全商品群が苦戦を強いられ、売上高は前年同四半期を下回りました。売上総利益につきましては、売上原価を抑えることはできたものの、前年同四半期を下回りました。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費を大幅に削減することができ、前年同四半期を上回りました。

経常利益につきましては、営業利益の黒字化や営業外収益の増加の影響もあり、前年同四半期を上回り、四半期純利益につきましても経常利益の黒字化の影響が大きく、前年同四半期を上回りました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高23億71百万円（前年同四半期比13.1%減）となり、売上総利益は6億91百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は0百万円（前年同四半期は営業損失88百万円）、経常利益は52百万円（前年同四半期は経常損失60百万円）となり、四半期純利益は48百万円（前年同四半期は四半期純損失37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ68百万円増加し、39億97百万円となりました。これは、主に現金及び預金が48百万円、受取手形及び売掛金が78百万円減少した一方で、電子記録債権が1億8百万円、商品が67百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ41百万円減少し、19億86百万円となりました。これは、主に投資その他の資産の投資有価証券が25百万円、投資不動産が9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ26百万円増加し、59億83百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ21百万円減少し、11億23百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が26百万円増加した一方で、その他に含まれる未払消費税等が54百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ11百万円減少し、3億57百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が12百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ32百万円減少し、14億80百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ59百万円増加し、45億3百万円となりました。これは、主に利益剰余金が21百万円、その他有価証券評価差額金が15百万円及び繰延ヘッジ損益が22百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）残高は、前事業年度末に比べ48百万円減少し、17億81百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、1億14百万円（前年同四半期は3億28百万円の増加）となりました。これは、主に売上債権の増加額33百万円、棚卸資産の増加額67百万円等の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は、92百万円（前年同四半期は1億18百万円の増加）となりました。これは、主に投資有価証券の償還による収入67百万円等の増加要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、27百万円（前年同四半期は1億21百万円の増加）となりました。これは、主に配当金の支払額26百万円等の減少要因があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績につきましては、2024年7月24日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」により修正しております。

なお、2024年12月期通期の業績予想につきましては変更ございませんが、今後の業績推移に応じて、修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月20日)	当第2四半期会計期間 (2024年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,830,177	1,781,451
受取手形及び売掛金	627,821	549,359
電子記録債権	718,032	826,361
商品	712,309	780,054
その他	40,947	60,515
貸倒引当金	△401	△411
流動資産合計	3,928,887	3,997,331
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,203	144,037
土地	570,542	570,542
その他(純額)	4,372	3,900
有形固定資産合計	723,118	718,479
無形固定資産		
投資その他の資産	52,608	48,425
投資その他の資産		
投資有価証券	554,883	529,094
投資不動産(純額)	678,038	668,914
その他	20,630	22,190
貸倒引当金	△1,214	△914
投資その他の資産合計	1,252,338	1,219,285
固定資産合計	2,028,065	1,986,191
資産合計	5,956,952	5,983,522
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,664	122,921
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	7,188	10,024
賞与引当金	15,034	15,622
その他	225,585	174,480
流動負債合計	1,144,472	1,123,048
固定負債		
退職給付引当金	168,202	156,153
役員退職慰労引当金	72,450	73,953
その他	128,005	127,033
固定負債合計	368,658	357,140
負債合計	1,513,131	1,480,189

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月20日)	当第2四半期会計期間 (2024年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	2,594,586	2,616,448
自己株式	△16,132	△16,303
株主資本合計	4,378,614	4,400,305
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87,075	102,696
繰延ヘッジ損益	△21,868	332
評価・換算差額等合計	65,207	103,028
純資産合計	4,443,821	4,503,333
負債純資産合計	5,956,952	5,983,522

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年6月20日)
売上高	2,729,042	2,371,600
売上原価	2,026,163	1,680,441
売上総利益	702,879	691,158
販売費及び一般管理費	791,177	690,178
営業利益又は営業損失(△)	△88,297	979
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5,345	5,137
受取賃貸料	38,527	42,781
為替差益	27	730
投資事業組合運用益	-	21,015
その他	3,457	3,891
営業外収益合計	47,358	73,557
営業外費用		
支払利息	2,648	1,349
賃貸費用	16,402	20,666
その他	664	-
営業外費用合計	19,715	22,015
経常利益又は経常損失(△)	△60,654	52,521
特別利益		
固定資産売却益	24,518	-
特別利益合計	24,518	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△36,136	52,521
法人税、住民税及び事業税	1,620	3,687
法人税等合計	1,620	3,687
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,756	48,834

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△36,136	52,521
減価償却費	15,280	18,766
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,423	△290
受取利息及び受取配当金	△5,346	△5,138
支払利息	2,648	1,349
固定資産売却損益 (△は益)	△24,518	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△308	588
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,508	△12,048
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△423	1,503
売上債権の増減額 (△は増加)	370,894	△33,167
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,900	△67,745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,617	26,256
その他	43,997	△98,988
小計	326,639	△116,393
利息及び配当金の受取額	5,346	5,138
利息の支払額	△2,657	△1,366
法人税等の支払額	△3,274	△4,025
法人税等の還付額	2,509	1,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,562	△114,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,377	△895
有形固定資産の売却による収入	105,262	-
無形固定資産の取得による支出	△12,152	△1,687
投資不動産の賃貸による収入	38,692	42,442
投資有価証券の取得による支出	△2,366	△2,551
投資有価証券の償還による収入	1,000	67,990
その他	△10,194	△12,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	118,864	92,413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	-
配当金の支払額	△27,067	△26,834
その他	△1,403	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,528	△27,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	568,956	△48,725
現金及び現金同等物の期首残高	1,408,715	1,830,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,977,671	1,781,451

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度までにおいて7期連続の営業損失、6期連続で当期純損失を計上していること、また当第2四半期累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況のもと、当社では当該状況を解消すべく、引き続き下記施策を中心とした「レマックリバイバルプラン」を推進してまいります。

- a. ライフスタイルのカジュアル化やファッションのダイバーシティ化に対応するオリジナルブランドの絞り込みと強化を行う
- b. 発注管理の徹底による在庫削減、及び商品回転率の向上と物流コストの削減を行う
- c. 品質管理体制の見直し、ローカル化することで精度向上と効率化を図る
- d. 働き方改革による一人当たりの生産性向上のために異業種へのアプローチを強化、新たな市場の創造・開拓など、管理職を始めとする全社員の意識改革を行う

当第2四半期において、継続して取り組んでいる発注管理及び物流コストの削減に一定の効果があり、営業損益面では改善傾向に向かっております。

なお、現状の当社は、現金及び預金の残高と短期間に資金化可能な債権の残高に加えて、その他にも売却可能な資産も充分ある状況であり、また取引銀行から必要な融資枠を確保できていることから、資金面においても支障はないものと判断しております。

従いまして、当第2四半期会計期間末において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。